

近畿厚生局管内の確定給付企業年金の状況

この統計は、近畿厚生局管内で登録されている確定給付企業年金制度について、作成基準日（令和 7（2025）年 10 月 1 日）までに提出された令和 7（2025）年 3 月末までを決算日とする決算報告書及び事業報告書（以下「決算報告書等」という。2,233 件）に基づいて、作成したものである。

1. 府県別、種類別の確定給付企業年金の状況

図表 1、2 の制度数は、作成基準日において現存する有効な制度数を計上しており、加入者人数、資産額、平均予定利率については、決算報告書等に基づき作成している。

（1）概況

制度数は 2,250 件（基金型 119 件、規約型 2,131 件）、前回（令和 6 年 10 月 1 日現在）に比べ 37 件減となり、加入者数 1,411 千人（17 千人減）、資産額 105,899 億円（957 億円減）、平均予定利率 1.97%（0.02%低下）であった。

図表 1 府県別、種類別の制度数などの状況

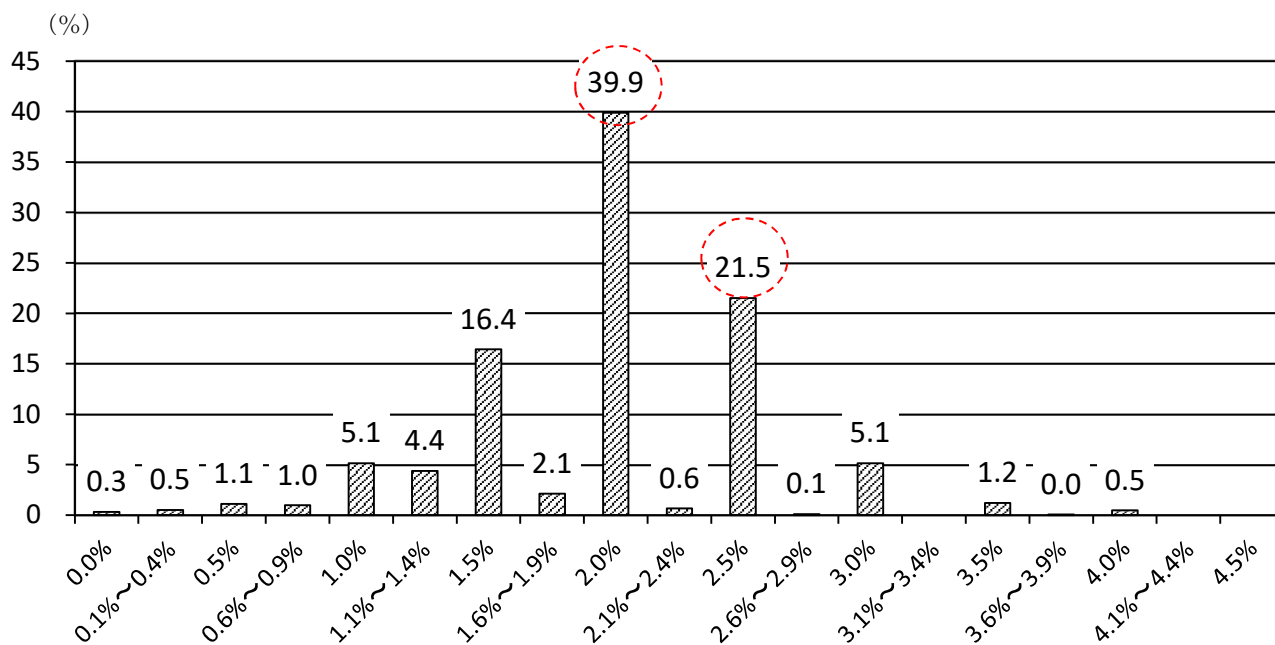
		合計	基金型	規約型計	一般	簡易基準	閉鎖型	受託保証			新基準適用 （再掲）
									閉鎖型	開放型	
制 度 数	合計	2,250	119	2,131	1,360	673	22	76	39	37	1,484
	福井県	72	2	70	25	36	1	8	0	8	27
	滋賀県	88	3	85	49	30	0	6	1	5	52
	京都府	203	14	189	114	65	1	9	6	3	128
	大阪府	1,368	76	1,292	871	372	16	33	20	13	954
	兵庫県	416	19	397	242	138	3	14	9	5	259
	奈良県	45	2	43	28	10	1	4	1	3	31
	和歌山県	58	3	55	31	22	0	2	2	0	33
	受託別										
制 度 数	信託等	897	103	794	752	24	18	—	—	—	866
	生保等	1,353	16	1,337	608	649	4	76	39	37	618
加入者数(人)		1,411,138	617,651	793,487	699,453	57,543	—	—	—	—	
資産額(億円)		105,899	48,970	56,929	53,880	1,239	1,767	43	19	23	
平均予定利率		1.97%	2.17%	1.96%	1.96%	1.96%	2.02%	—	—	—	

注 1) 受託別は総幹事会社の区分別であり、信託等は信託銀行と指定法人の合計、生保等は、生命保険会社と全共連の合計である。
2) 閉鎖型は、加入者のいない制度である。

(2) 予定利率の分布

予定利率は 2.0%と 2.5%で大半を占め、4.0%以上が 0.5%（10 件）であり、0.5%以下が 1.9%（42 件）であった。

図表 2 予定利率の分布（予定利率別の制度数／制度数合計の割合）



2. 令和6(2024)年度の決算状況（令和6(2024)年4月末～令和7(2025)年3月末決算分）

（1）概況

制度数は2,233件（基金型119件、規約型2,114件）、平均加入者数は644人、平均資産額は4,742百万円、単純平均利回り（運用実績）は3.28%であった。

図表3－1 令和6(2024)年4月末から令和7(2025)年3月末決算の概況

	合計	基金型	規約型計						
				一般	簡易基準	閉鎖型	受託保証	閉鎖型	開放型
制度数	2,233	119	2,114	1,348	669	22	75	38	37
平均加入者数(人)	644	5,190	375	519	86	—	—	—	—
平均資産額(百万円)	4,742	41,151	2,693	3,997	185	8,031	57	50	63
平均予定利率	1.97%	2.17%	1.96%	1.96%	1.96%	2.02%			
単純平均利回り(実績)	3.28%	0.52%	3.44%	4.37%	1.61%	1.69%			
加重平均利回り(実績)※1	1.77%	0.72%	2.69%	2.76%	2.17%	0.86%			
積立水準その1	1.506	1.385	1.513	1.304	1.197	23.953	その1:責任準備金(※2)に対する積立水準		
積立水準その2	2.088	1.398	2.128	1.694	2.302	23.403	その2:最低積立基準額に対する積立水準		

※1)加重平均利回りは、資産額による加重平均である。

※2)責任準備金は、数理債務から特別掛金収入現価を控除した額(旧基準の責任準備金)である。

図表3－2 過去5年の決算状況の推移

	R2.4末～ R3.3末	R3.4末～ R4.3末	R4.4末～ R5.3末	R5.4末～ R6.3末	R6.4末～ R7.3末
制度数	2,379	2,334	2,299	2,273	2,233
平均加入者数(人)	639	634	629	638	644
加入者数(千人)	1,521	1,479	1,446	1,450	1,437
平均資産額(百万円)	4,391	4,446	4,349	4,690	4,742
資産額(億円)※3	104,470	103,770	99,990	106,600	105,889
平均予定利率	2.07%	2.04%	2.02%	1.99%	1.97%
単純平均利回り(実績)	2.64%	4.46%	－1.03%	4.49%	3.28%
加重平均利回り(実績)	7.39%	4.12%	－1.15%	7.14%	1.77%
積立水準その1	1.265	2.099	1.263	1.366	1.506
積立水準その2	1.834	2.638	1.794	1.911	2.088

※1)加重平均利回りは、資産額による加重平均である。

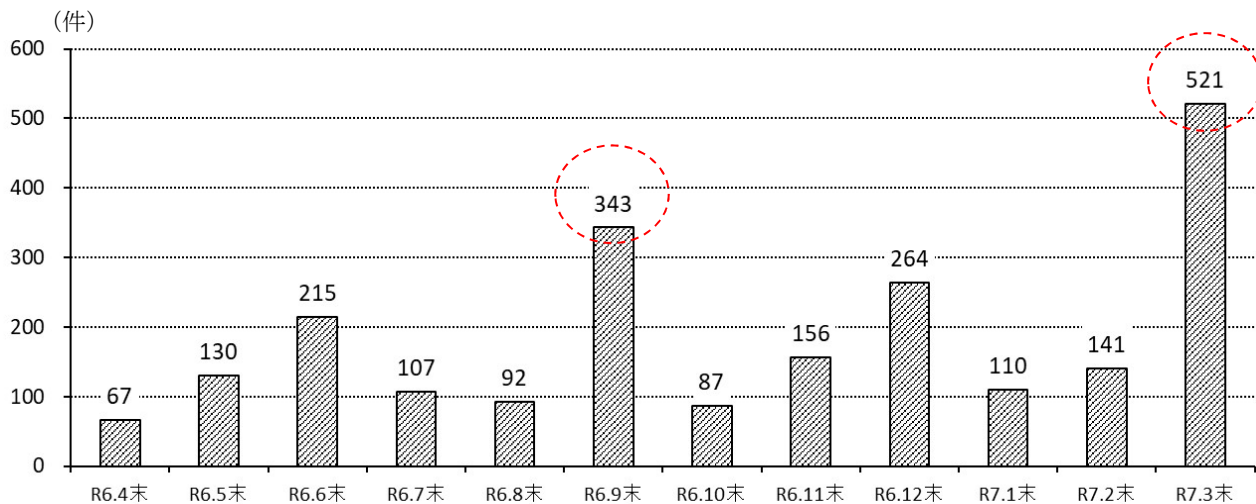
※2)責任準備金は、数理債務から特別掛金収入現価を控除した額(旧基準の責任準備金)である。

※3)資産額は、十億円での四捨五入で端数を整理している。

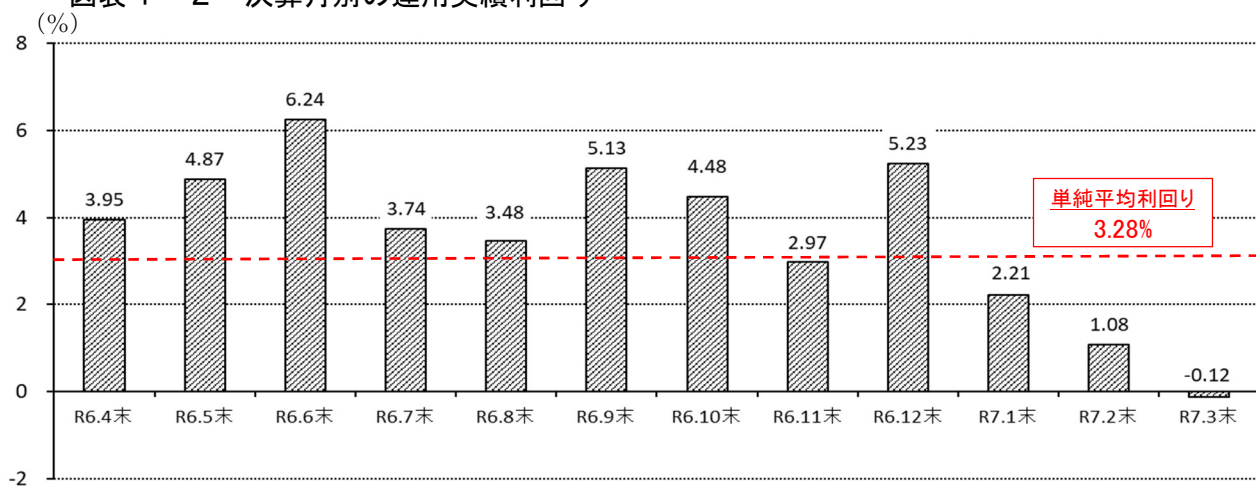
(2) 決算月別の状況

決算の月別では、9月末決算（15.4%）と3月末決算（23.3%）が多くなっている。

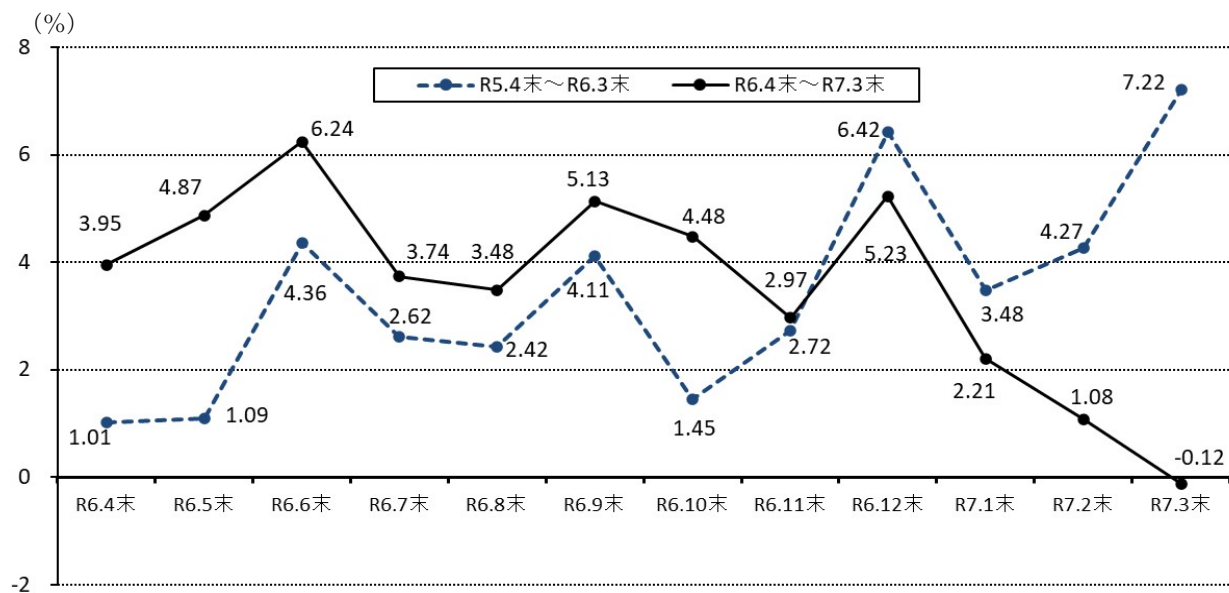
図表４－１ 決算月別の制度数（合計 2,233 件）



図表４－２ 決算月別の運用実績利回り



図表４－３ 過去2年の決算月別の運用実績利回り

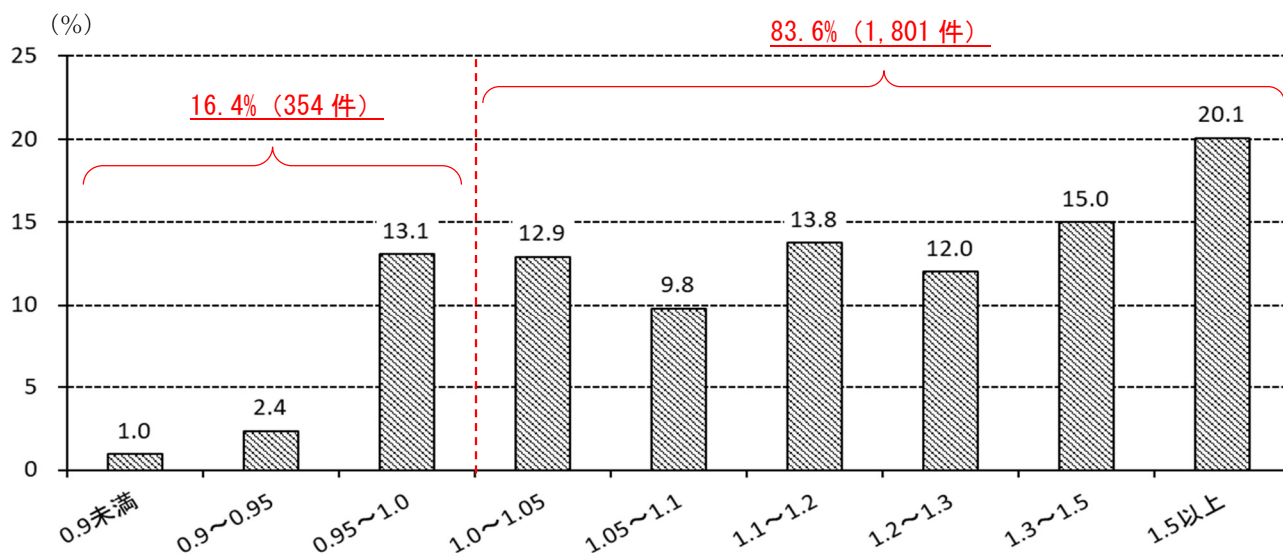


(3) 積立水準の状況（受託保証を除く）

図表5、6は、純資産額の責任準備金(数理債務から特別掛金収入現価を控除した額)及び最低積立基準額に対する積立水準の分布をまとめたものである。

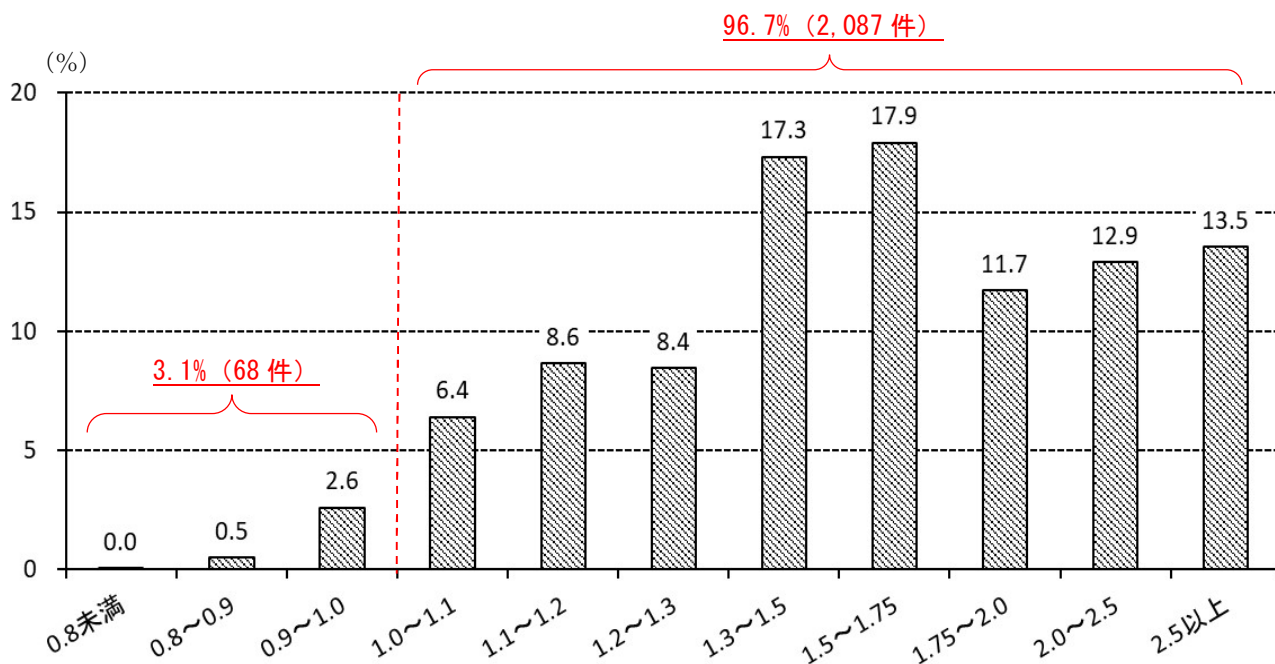
図表5 責任準備金に対する積立水準の分布（積立水準別の制度数／制度数合計の割合）

責任準備金に対する積立水準が1.0以上の制度は83.6%（1,801件）であり、1.0未満の制度は16.4%（354件）であった。



図表6 最低積立基準額に対する積立水準の分布（積立水準別の制度数／制度数合計の割合）

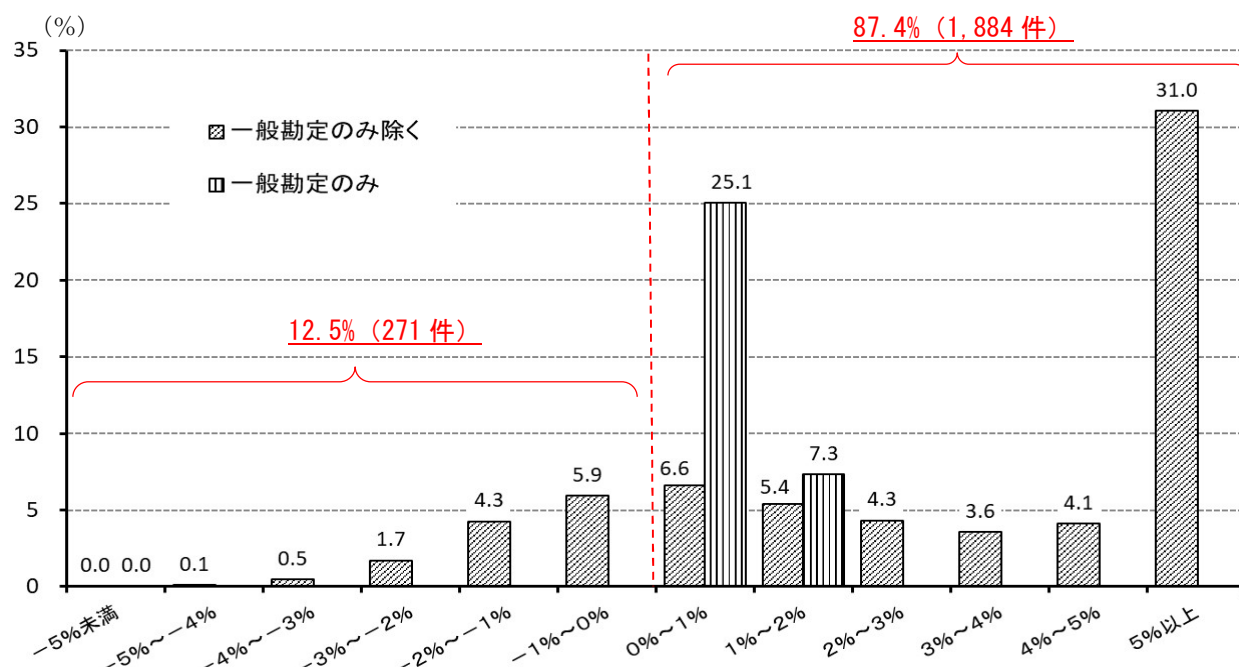
最低積立基準額に対する積立水準が1.0以上の制度は96.7%（2,087件）であり、1.0未満の制度は3.1%（68件）であった。



(4) 資産運用の状況（受託保証を除く）

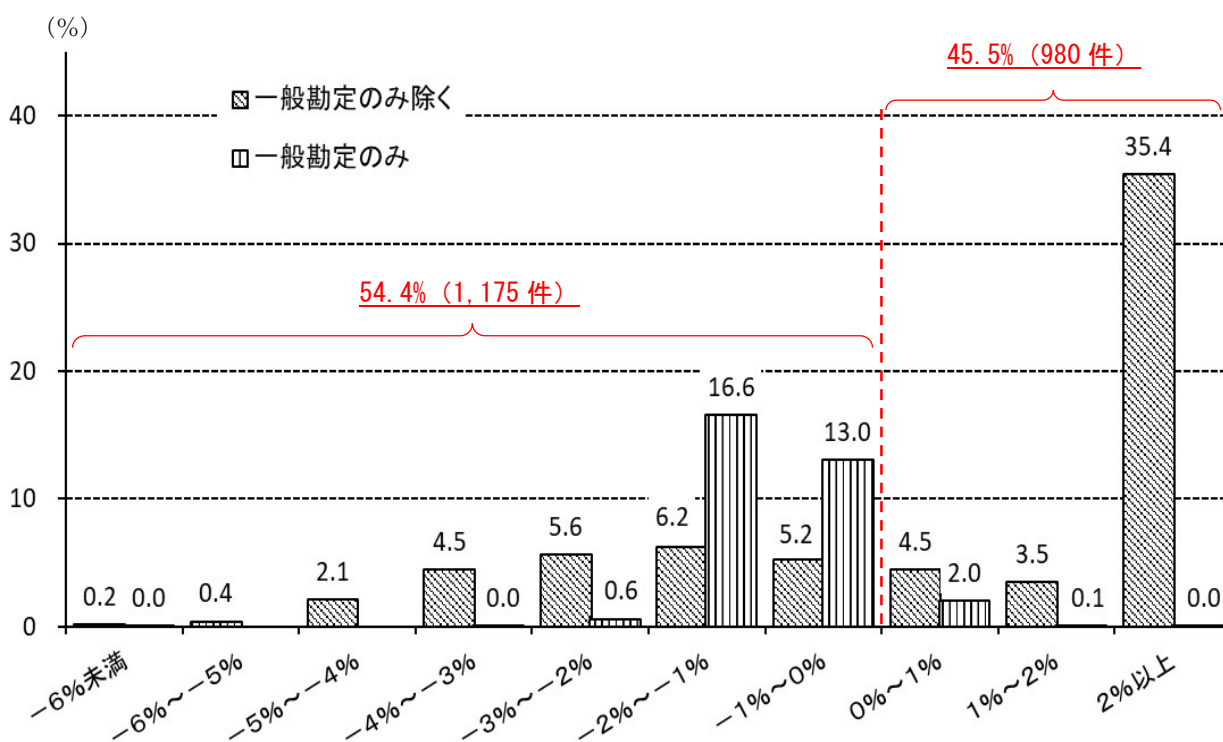
図表7 運用実績の分布（運用実績別の制度数／制度数合計の割合）

運用実績については、制度ごとに決算日が異なることから単に比較することはできないが、運用実績が0.0%以上となった制度は全体の87.4%（1,884件）であり、一方、0.0%未満となった制度は全体の12.5%（271件）であった。



図表8 実績の運用利回りと予定利率の差の分布（運用実績－予定利率＝差）

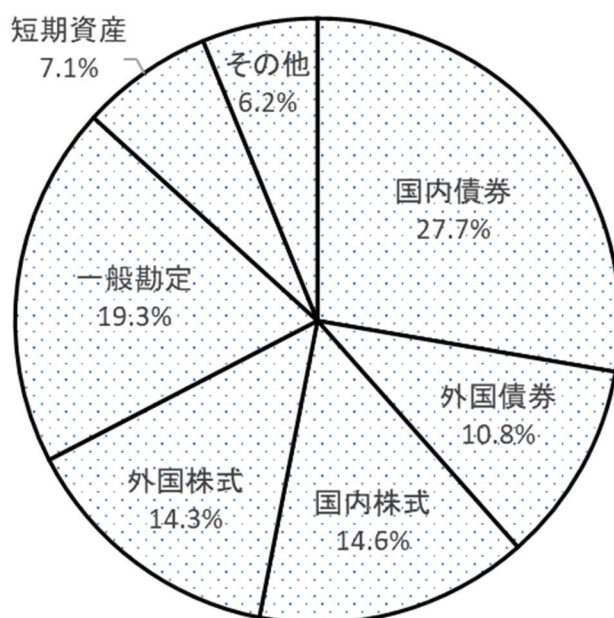
運用実績が予定利率を下回った制度は全体の54.4%（1,175件）であり、上回った制度は全体の45.5%（980件）であった。



(5) 資産構成等の状況（一般勘定のみで運用している制度を除く）

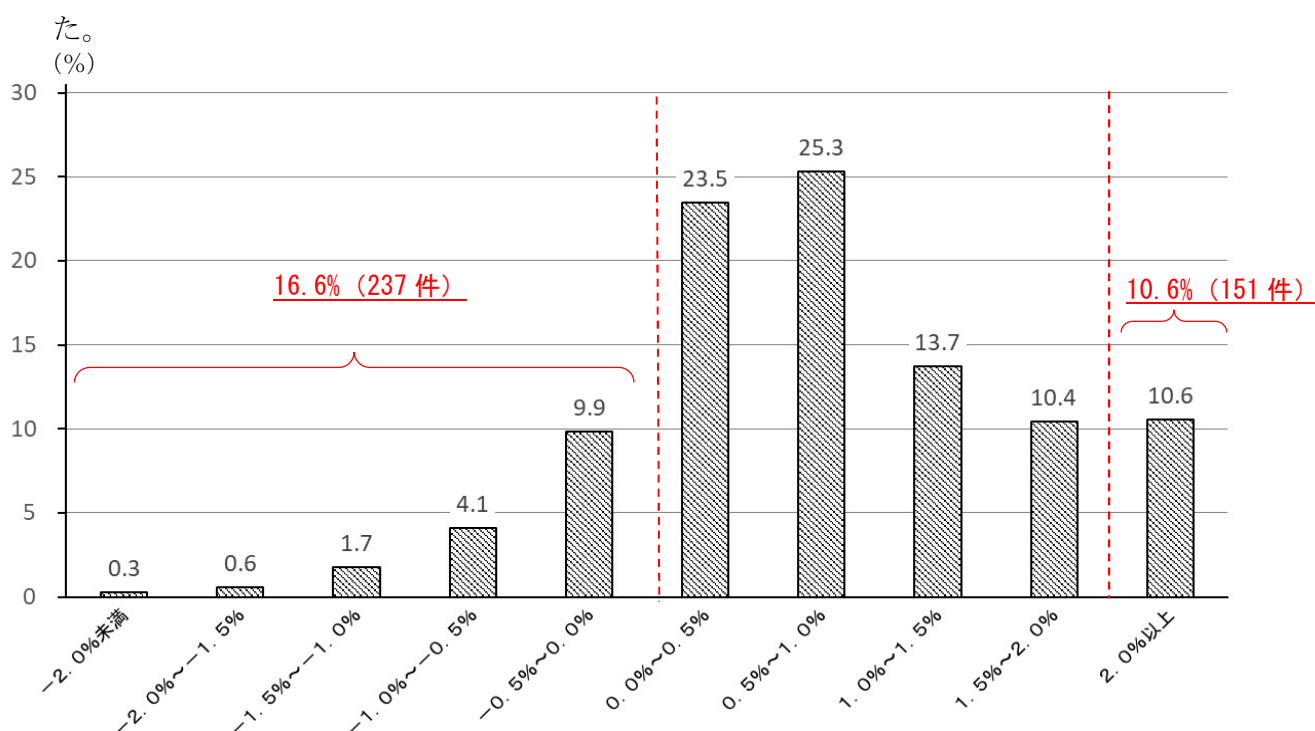
図表9の運用実績の資産構成割合は、決算報告書等の事業年度末日における資産の時価総額に基づく、資産構成割合をまとめたものである。

図表9 運用実績の資産構成割合（平均値）



図表10 政策的資産構成割合に基づく長期的な期待収益率と予定利率の差の分布
（期待収益率－予定利率＝差）

政策的資産構成割合に基づく長期的な期待収益率が予定利率を下回る（0.0%未満）制度は16.6%（237件）であり、一方、予定利率を2.0%以上上回る制度は10.6%（151件）であった。



以上